

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123231089	イベントプロデュース演習 Event Produce Circumference	金刺 健太			1	選択	3前期

科目の概要

本科目ではイベントの企画・アイデアの発想法、企画書の作成の方法、マーケティング手法、集客方法、そしてイベント本体の運営方法までひとつのイベントが完成に至るまでの一連の過程に必要な知識・技術を体験的に学修していく。これにより、スタジオのプロジェクトでイベントを実施し、その目標を達成するために必要となるノウハウを学ぶ。また、その中で、イベントにおけるプロデューサーの役割についても同時に理解していく。ここでの学修を通してDP2記載の「ライフスタイルのデザインを提案するために必要な地域活性に関する専門的知識・技術を身につけて、地域再生に貢献することができる」、DP3記載の「自立した社会人として自らの可能性を高めて社会に貢献することができる」ようになることを目指す。

学修内容	到達目標
① イベントの定義とイベントが持つ社会的役割やイベントがもたらす効果を知る。自己紹介 ② イベントの基本構造と企画するノウハウを学ぶ。 ③ イベントの 構想 企画 実施計画 運営について学ぶ ④ 構想を企画書にして、実施に向けてのスケジュールを組む 妄想 アイディアを形にして実現化するプロセス ⑤ 実施計画を作り、実施に必要な項目をリスト化し 責任を分担する ツール スタッフ スケジュールを理解 ⑥ イベントのプロモーションについて学び 計画中のイベントのプロモーションを行う プレスリリースの作成 ⑦ イベント現場を体験し、感想を分かち合い、学びとする。イベント現場における改善点を互いに共有する ⑧ アカウントマネジメントを学び イベントの収入。支出の構造を学ぶ 予算管理とお金の仕組み ⑨ 実施イベントを検証し、体験を分かち合い学びとする。 外部評価を得る 伝える力 ⑩ イベントから得た感動・ノウハウをこれからの生活で生かすことができるようになる。自分の人生を創る	① イベントの定義や社会的役割、効果を説明することができる。 WHY なぜイベントを実施するか？に答えることができる ② イベントの構造から、日々の事象を構造にあてはめ分析・構築することができる ③ イベント制作プロセスのノウハウを知り、自分の日常生活に生かすことができるようになる ④ 組み立てる力 ⑤ スケジュールに従い、スタッフ、機材、資金、法的課題、協力者を決め、行動することができる ⑥ 広報戦略 広報計画を作り実施することができる ⑦ 報告書の作成、体験のシェアができる 報告 連絡 相談の基礎 ⑧ プロジェクトにおける資金の管理ができるようにする お金の仕組み 利益を出す構造を知る ⑨ イベントの評価ができるようにする。 多様な評価軸を持つ PDCAサイクルで検証できるようにする ⑩ イベントを通して自分の人生を豊かに演出する。自分の人生の 創造者（プロデューサー）となる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自分のやりたいこと、やるべきこと になりたい自分を問い自発的に行動できるようにする。授業時間外の予・復習をしっかりと行っうえで授業にも積極的に参加することができる。
	働きかけ力	人を巻き込む姿勢、態度、コミュニケーションを学び、人前でプレゼンテーションする力をつける。
	実行力	実現するための、実施計画、必要な行動、着手方法を学ぶ。 前に踏み出すためのきっかけの作り方を学ぶ。
考え抜く力	課題発見力	実習での体験、授業で紹介される事例のほかにも自身でも様々な事例を探し、発想を広げることができる。まねる 考える 組み合わせる 創り出すの体験を通し、独自性のある企画を生み出す方法を学ぶ
	計画力	導き出した企画・計画に対して、なぜを繰り返し、ブラッシュアップする。
	創造力	妄想から 実現可能な夢へ そして 構想 企画 計画へのプロセス 行動を体験する
チームで働く力	発信力	人を巻き込むコミュニケーション力をつけ、チームの力を最大化する
	傾聴力	ヒヤリングシートを利用して、もれなくダブリなく 具体的に聞く力を養う。質問力をつける 相手が話したくなるコミュニケーション方法を学ぶ
	柔軟性	個性を認め それぞれの役割を担い責任をもって遂行する力をつける 現場での臨機応変の対応ができるための心構えと準備ができるようにする。
	状況把握力	進捗管理 外部環境の情報収集と分析 対応力をつける 情報収集能力 情報の真意の検証方法取得する
	規律性	授業内で決められたルールを遵守することができる。時間を守る イベントにかかわる 法令を学び 遵守する。 イベントにおけるコンプライアンスを設定し、守る方法とチェック機能を作り実施する
	ストレスコントロール力	スケジュールの遅延や計画通りにいかない場合、外部環境の急変に対応する、心も持ち方を学ぶ。リーダーシップとフォロワーシップ役割を知る

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。必要な資料は授業内で配布する。
参考書：イベント検定公式テキスト 「基礎から学ぶ 基礎からわかるイベント」

他科目との関連、資格との関連

「イベントプロデュース演習」では「リサーチリテラシー」「プレゼンテーション基礎」「ビジュアルプレゼンテーション」で獲得した知識・技術を活用する。
また、「地域の暮らしと生産」「地域ブランド論」「流行論」で得られた知見も科目内容の理解に深く関わっている。
本科目は「スタジオC（地域活性）」のプロジェクトを進めていくために重要な科目でもある。

学修上の助言	受講生とのルール
授業内容を理解するうえでも、各種イベントに積極的に参加してほしい。開催時を随時案内し ボランティアスタッフの体験も紹介する	この科目はグループワークを中心として進行していくため、欠席しないようにしてほしい。どうしても欠席しなければならない場合には、教員だけでなく、グループもメンバーにも事前連絡をすること。また、ディスカッションなどの場面では積極的な態度で臨むことを心掛けてほしい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
		レポート	40	①	✓	⑥	✓	イベント体験① 参加者側の視点からイベントをレポートする。 (15点) イベント体験② 運営者側の視点からイベントをレポートする。 (15点) ①自分の考えたイベントの目的 whyを設定する ②イベントの構造を理解し 自分の生活にあてはめる ⑥広報戦略を作る ※レポート課題はGoogle classroomで提出
				②	✓	⑦		
				③	✓	⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥		イベントの企画書（30点） 企画の独自性、妥当性、実現可能性を主な評価のポイントとする。 イベントの実施案のプレゼンテーション（30点） 実施案の精度と妥当性を主な評価のポイントとする。 ③模擬コンペでイベント企画のプレゼンテーションを行う ⑦体験の分かち合い ※企画書とプレゼンテーションのデータはGoogle classroomで提出
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧		
				④		⑨	✓	
				⑤		⑩		
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	【主体性】 授業時間外の子・復習をしっかり行っうえで授業にも積極的に参加することができる。自身のスケジュール管理ができる 【実行力】【計画力】 構想から実施計画までのプロセスで具現化、仮説、準備ができる。 【課題発見力】【創造力】 実習での体験、授業で紹介される事例のほかにも自身でも様々な事例を探し、発想を広げることができる。 【創造力】 既知の組み合わせと、独自の発想による個性を生かした創造力を生み出すプロセスを取得し、生活に生かすことができる。 【発信力】 自分の意見、思考、感情を表現し、良好なコミュニケーションをチーム内でできるようにする。またターゲットに向けて、最適な発信手法を選択できるようにする。 【傾聴力】 コンペのオリエンテーションヒヤリングや会議での議事録作成ができるよう傾聴、記録、まとめ、表現の力をつける。 【規律性】 授業内で決められたルールを遵守することができる。 【働きかけ】 チームビルドと協働により、目標を達成をすることができる。		
		②	✓	⑦				
		③	✓	⑧				
		④	✓	⑨				
		⑤	✓	⑩				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・授業に積極的に参加し、グループワークなどの際にリーダーシップあるいはフォロワーシップが発揮できている。 ・優れた着想と明確な根拠に基づいて課題が作成されている。 上記2点が特に優れていると判断した場合にS評価とする。	・授業に積極的に参加している。 ・課題が期日内に条件通りに提出できている。 ・イベントの企画 制作 運営にかかわる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	イントロダクション ラポール 自己紹介 イベントの定義 種類 価値 みんなのイベント体験 を紹介しあう。	講義 プレゼンテーションの 基礎 自己紹介 質疑応答 ディスカッション	科目の概要が理解できる。 多様なイベントの種類 が理解できる。 チームビルディングの 為の情報収集	(予習) シラバスを 読んで、この科目の学 修内容を理解しておく。 自己紹介の練 習 (復習) 各種イベント の事例を探す。 メンバーの ニックネームを覚える	90	主体性 働きかけ 力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
2	地域とイベント 岡崎市で開催されるイ ベントとそれが地域 にもたらす効果につい て知る。	講義 ディスカッション	岡崎市で開催されるイ ベントが地域にどのよ うな効果をもたらして いるか理解できる。	(予習) 岡崎市で開催 されるイベントを調べ る。 (復習) 岡崎市で開催 されるイベントをさら に調べ 効果を知る	90	主体性 課題発 見力 規律性
3	イベント体験①-1 参加者側の視点からイ ベントを調査する。	実習 フィールドワーク 来 場者として改善点を検 証する	イベントに参加でき る。	(予習) 参加するイベ ントの概要を確認して おく。HP SNSチラシ 等 (復習) 参加したイベ ントの内容をレポート にまとめる。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力 規律性
4	イベント体験①-2 主催者 運営スタッフ 側の視点からイベント を調査する。	実習 フィールドワーク	イベントに参加でき る。	(予習) 参加するイベ ントの概要を確認して おく。 (復習) 参加したイベ ントの内容をレポート にまとめる。	120	主体性 課題発 見力 状況把 握力 規律性
5	イベントの企画① イベントの概要を6W2H で整理する。 企画書のまとめる	講義 グループワーク チー ムビルド プレスト 企画書にまとめる	イベントの基本構成要 素が理解できる。 企画書作成力	(予習) 事前に配布さ れた資料を確認してお く。 (復習) 各種イベント の事例を6W2Hで整理す る。	90	主体性 課題発 見力 計画力 創造力 状況把 握力 規律性
6	イベントの企画② イベントの目的から ターゲットとベネ フィットを設定する。	講義 グループワーク マイ ンドマップ プレスト	イベントの目的から ターゲットとベネ フィットが設定でき る。	(予習) 事前に配布さ れた資料を確認してお く。 (復習) 授業時間内に 完了しなかった課題を 完成させる。	90	主体性 課題発 見力 計画力 柔軟性 規律性
7	イベントの企画③ 目的why what howに そって、目標を設定し イベント内容を検討す る。	講義 グループワーク	イベントの企画内容を まとめることができ る。	(予習) 事前に配布さ れた資料を確認してお く。 (復習) 授業時間内に 完了しなかった課題を 完成させる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 柔軟性 規律性
8	イベントの企画④ イベントの企画書を作 成する。	グループワーク グループディスカッ ション	イベントの企画書を作 成することができる。	(予習) 事前に配布さ れた資料を確認してお く。 (復習) 授業時間内に 完了しなかった課題を 完成させる。	90	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発 見力 計画力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	イベント体験②－1 イベントの運営補助を体験する。	実習	イベントの運営補助ができる。	(予習) 補助を行うイベント内での自分の役割を確認しておく。 (復習) 運営に参加したイベントの内容をレポートにまとめる。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	イベント体験②－1 イベントのスタッフとして運営補助を体験する。	実習	イベントの運営補助ができる。	(予習) 補助を行うイベント内での自分の役割を確認しておく。 (復習) 運営に参加したイベントの内容をレポートにまとめる。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	イベントの運営計画① イベントの運営に関わるスタッフの種類と役割を知る。 自分たちで作成したイベント企画に必要な人員構成を検討する。	講義 グループワーク	イベントの運営に関わるスタッフの種類と役割が理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 計画力 柔軟性 規律性
12	イベントの運営計画② イベントの宣伝告知の効果的な方法を知る。 自分たちで作成したイベント企画に最適な宣伝告知の方法を検討する。	講義 グループワーク	宣伝告知の方法とその必要性が理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
13	イベントの運営計画③ イベント開催のために必要な準備を知る。 自分たちで作成したイベント企画を実施するために必要な準備を検討する。	講義 グループワーク	イベント開催のための事前準備の重要性が理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性 ストレスコントロール力
14	イベントの運営計画④ 自分たちで作成したイベント企画のタイムテーブルを作成する。	講義 グループワーク	イベントのタイムテーブルを作成することができる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
15	コンクルージョン 授業内で作成したイベント案を発表し、相互に意見を交換する。	プレゼンテーション グループディスカッション	イベント案を発表することができる。 ディスカッションに参加できる。 自分の人生を豊かにするためイベント手法を活用	(予習) 発表の準備をしておく。 (復習) 自身の発表に対して受けた指摘をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力